



一般質問

第4回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

市民連合



島津 哲也議員

質問1

災害時の避難所

台風14号襲来時の避難所開設の選定判断は。また、高齢者などに配慮した避難所の環境整備の取り組み状況は。

答弁

気象情報や避難所ごとのハザード情報などを考慮し、開設を判断している。また、バリアフリーなどの避難所の環境整備に取り組んでいる。

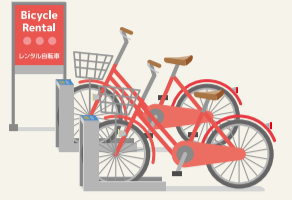
質問2

シェアサイクルサービス「チャリチャリ」

4月末から実証実験が行われているが、課題や問題点、利用者からの要望などはないか。

答弁

駐輪ポート以外へ一時的に駐輪できる機能の要望があっている。今後も機能の追加や駐輪ポートの増設などで利用促進を図っていく。



熊本自民



落水 清弘議員

質問1

市庁舎建て替え問題から、岡山市新庁舎について

仮定として、耐震問題などが解決した時のために、岡山市新庁舎の先進的建築法を研究しては？

答弁

本市の庁舎を建て替えることとなった場合は、岡山市の事例なども参考にしながら、検討を深めていく。



質問2

池田小学校のプール体育館合築建設落成時期は？

平成2年からお願いしておりました、池田小学校プール体育館合築建設の落成時期は、予定通りか？

答弁

文化財課の調査の結果、埋蔵物は発見されなかったため、当初の予定どおり、令和6年2月末に完成する予定である。

自民党



大石 浩文議員

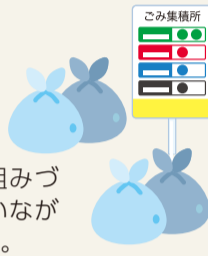
質問1

自治会など地域団体が抱える課題

自治会などの活動における担い手不足への支援と、ごみステーション管理の負担軽減に早急に取り組むべき。

答弁

地域活動や自治会をみんなで支える仕組みづくりに取り組む。自治会などの意見を伺いながらごみステーションの負担軽減に取り組む。



質問2

市教育委員会の課題改善に向けた取り組みは

「責任の所在があいまい」「身内意識が強い」と指摘される課題の改善に向けて、今後どう取り組まれるのか。

答弁

今回の反省と教訓を生かし、教育委員会と学校が良い緊張感の中で連携し、よりよい教育をつくれるよう強い覚悟をもって取り組む。

公明党



井本 正広議員

質問1

子ども医療費の償還払いを現物給付へ

安心して医療サービスが受けられるように、償還払い制度から現物給付方式への制度変更を求める。

答弁

他の公費負担分との重複受給の防止、国民健康保険の国庫負担分の減額という課題がある。他都市の事例などを参考に検討していく。

質問2

福祉の観点を取り入れたベンチの設置を

公共交通の待合環境の改善に加えて、誰もが街なかで休める場所としてベンチの設置を進めてはどうか。

答弁

バリアフリー化促進や福祉の観点からバス停ベンチの必要性は高いと考えており、バス事業者などと連携し、具体的手法を検討する。



共産党



上野美恵子議員

質問1

憲法で「義務教育は無償」、学校給食は無償に

学校給食無償は256自治体、政令市(千葉・神戸・大阪・堺)でも部分的・コロナ対策で実施。熊本市でも実施を。

答弁

地方創生臨時交付金の物価高騰対策で食材費助成を行っており、今後は子育て世帯への支援として一定の負担軽減について検討する。

質問2

「建て替えありき」の耐震性能分科会の審議

「現庁舎は耐震性能が不足する」の耐震分科会結論は建て替えありき。現時点で市民への説明責任を果たすべき。

答弁

有識者会議の答申前であっても、分科会や有識者会議の審議内容などを市民の皆さまに丁寧に発信し、ご理解いただけるよう取り組む。



無所属議員



緒方 夕佳議員

質問1

体罰・暴言・不適切指導の再発防止

一人一人の教職員に関して、その指導の在り方と授業について子どもたちに定期的にアンケートをとるべきでは。

答弁

教員の指導について、子どもたちの声を聞くことは重要と考えており、アンケートは指導力向上に資するような実施方法を検討する。

質問2

大西市長マニフェスト2018の総括

「子どもを死なせない社会の実現に向け取り組む(任期中実現)」について自殺という観点からの総括は。

答弁

子どもに関わる部局が連携を強化し、全ての職員が子どもの命に向き合い、命をお預かりしているという強い覚悟で職務にあたる。



市民連合



山内 勝志議員

質問1

子育て支援、共働き世帯支援の拡充

産後ケア・病児病後児保育事業の拡充が必要。受入施設増加のための事業者支援と利用者サービスの充実を図るべき。

答弁

現時点で施設数は概ね確保できている。引き続き施設運営への支援や利用者ニーズに応じた丁寧な対応について改善を検討していく。

質問2

自治会活動の負担軽減と行政からの人的支援

自治会の高齢化と加入率低下が課題。市からの事務委託を見直すと共に、ベテランの市職員をマンツーマン型で地域に配置を。

答弁

自治会の役割の見直しや、ガイドラインの策定に取り組むと共に、60歳を超えた職員の地域への配置も、活躍の場の一つとして検討する。



熊本自民



藤山 英美議員

質問1

学校プール統廃合モデル事業の検証と今後

今年度から開始した学校プール統廃合モデル事業。今年度の実施内容と検証結果を踏まえ、来年度以降の計画は。

答弁

新たに小学校4校で民間施設を利用し、小中各1校で隣接校のプール共用を実施予定であり、今後も調査などを行い拡充を検討する。



質問2

県道熊本高森線の電線地中化へ

無電柱化は、道路の防災性の向上や安全性、快適性の確保、良好な景観形成に重要な施策。進捗と今後の計画は。

答弁

残す花立2丁目交差点から益城町までの区間は、令和7年度までの着手を目標に電線管理者と無電柱化に向けた協議を行っている。